

KOBE YMCA NEWS



神戸青年 No.620

2013. 1・2 Jan.・Feb.

発行所 日本YMCA同盟 東京都新宿区本塩町7
THE YMCA神戸版 発行人/水野 雄二 編集人/櫻井 英治
神戸YMCA 〒650-0001 神戸市中央区加納町2-7-15
TEL. 078-241-7201 FAX. 078-241-7479
URL http://www.kobeymca.org 印刷/わかばやし印刷

神戸YMCA 年間聖句
確かに未来はある。
あなたの希望が断たれることはない。
(箴言23章18節)

YMCAセミナー開催

11月17日(土) 10:00~ YMCAセミナーが開催されました。「原発とバベルの塔の物語」と題して、栗林輝夫さん(関西学院大学教授)をお招きし、キリスト教や聖書の観点から原発をどのように考えるか、ということをお話いただきました。原子力の誕生、原子爆弾の製造の経緯、スリーマイルやチェルノブイリ、福島原発事故など、映像を交えながら進められました。バベルの塔は権力集中型の科学技術であり、国民が意見を余地はなく、王が決めたとおりに建築されました。また、その建築物の恩恵を受けるのも王であったのです。この技術は神から良しとされず、人々は離散していきました。それに比べ、神の意志で造られたノア方舟は、全ての動物を一對ずつ乗せ、「いのち」を守り、未来へつなげるための民主的な科学技術と例えられました。「第二次世界大戦後、原子力発電をアメリカのキリスト教界も賛同し、推進していましたが、スリーマイルの事故後、考えを変えました。このように、すべてのことを科学的見地で見通すことは難しいかもしれません。しかし、少なくとも聖書に書かれている、「いのちの道」を考えながら、どのような技術を選ぶのかということを考えていくことが大切です。」栗林先生によって与えられた示唆を一つの機会として、YMCAに連なる我々一人一人が未来の「いのち」のために何が大切を考え、行動していきたいと強く願います。(担当: 松田康之・岩本和憲)

YYフォーラム

YYフォーラムの季節がやってきました。今年度のYYフォーラムは、『個性』の伝道師(メッセンジャー)がやってくる!をテーマに①遊び、②仕事、③国際、④社会問題、⑤教育の中から興味のあるテーマ選び、『個性』の伝道師(メッセンジャー)とともに深めていきます。興味を持っていること。みんなに伝えたいこと。学びを深めたいこと。どんな思いで、テーマを選んでもOKです。YMCAに集うたくさんの方と、さまざまな意見、思いに触れ合いながら、自分の思いや、考えを共有していきます。たっぷり、じっくり、ゆっくりに一つのテーマに向き合い、深めていく一日です。当日は暖かい飲み物を用意して、みなさんをお待ちしています。10年後の自分はどんな伝道師(メッセンジャー)になっているのだろうか。。。

日程: 2013年1月12日(土)
時間: 13:00~17:00(受付: 12:30~)
場所: 神戸YMCA三宮本館
主催: 神戸YMCA、ワイズメンズクラブ六甲部
企画: 神戸YMCAユース委員会
申し込み: お名前、所属、年齢(学年)をご記入の上、FAXで西神戸ランチ(078-793-7470)もしくは、yyforum@kobeymca.orgまでお申し込みください。

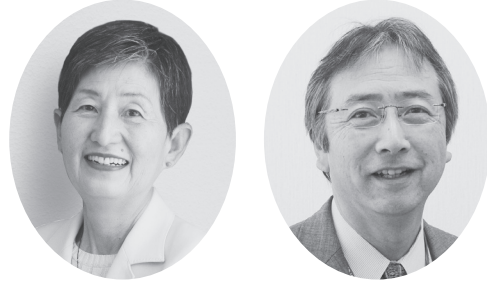
迎春

皆様にはご健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年から今年にかけて、国内外のリーダーシップの交替がなされ、政治経済共に大きな変動が予想されます。そして、その変動に伴う社会の大きな歪みの中で、子どもたちや若者が置かれる状況も憂慮される環境にあります。そのような社会の中で、神戸YMCAは、昨年取り組む「新3ヶ年計画」に基づき、歩を進めています。来る2015年度に大きく羽ばたくための助走の3ヶ年と位置付けて、その準備を遂行してまいります。

2011年に発生した東日本大震災支援の活動を昨年も継続することができました。これらの活動は、今年も継続される私たちのテーマで、共に生きる社会を願い、被災者と共にある活動を進めていきます。被災地のみならず、混沌とした日本の社会の中で、すべての「いのち」が輝きを失うような課題が山積しています。私たちにできることは小さいことかもしれませんが、あらゆる「いのち」が光り輝くことを願って、活動を展開してまいります。

本年も皆様のご参加とご支援、またご協力をお願い申し上げます。



会長 武田寿子 総主事 水野雄二

第30回記念午餐会(特別講演会)

テーマ: 「いのちの輝き」
講師: 柏木哲夫さん
(淀川キリスト教病院名誉ホスピス長・学校法人金城学院学院長、日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団理事長)

日時: 2013年2月16日(土)
第1部 正午~ 午餐会
第2部 13:00~14:30 講演

会場: 神戸YMCA 4階 レストラン・サイコー亭
会費: 第1部「午餐会」(昼食会)・第2部「講演」参加の方 1,500円
第2部「講演」のみ参加の方 無料

定員: 100名(要予約)
主催: 神戸YMCA後援会
申込先: 神戸YMCA本部事務局
TEL 078-241-7201 FAX 078-241-7479

省察

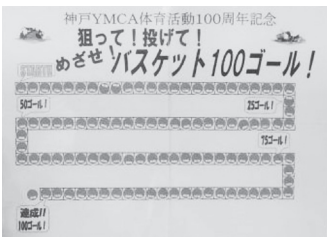
西宮ワイズメンズクラブ会長 長井慎吾

「省察」は、自分の心や行動を振り返り、反省すること。ここでは、YMCAの活動や社会への取り組みについて、自分自身や周囲のメンバー、そして社会に対して、どのような姿勢で取り組んでいるのか、そして、どのような課題や問題があるのか、そして、それらをどのように解決していくのか、について、自分自身や周囲のメンバーと話し合い、反省し、改善していくことが、YMCAの活動や社会への取り組みにとって、非常に重要なことである。そして、そのためには、自分自身や周囲のメンバーと、オープンなコミュニケーションをとり、お互いの意見や考えを尊重し、受け入れ、そして、それらを基に、協力して取り組んでいくことが、非常に重要である。そして、そのためには、自分自身や周囲のメンバーと、お互いの意見や考えを尊重し、受け入れ、そして、それらを基に、協力して取り組んでいくことが、非常に重要である。

体育活動100周年

神戸YMCAは2012年、体育活動100周年を迎えました。ウエルネスセンター三宮では、体育活動100周年をお知らせするポスター掲示や成人会員向けイベント「ウエルネスウィーク」の中で特別プログラムを行いました。特別プログラムでは成人会員に限らず幼少年会員も参加して、100周年にちなんだ「みんなで繋ごう100kmスイム」「目指せバスケット100ゴール」という企画を行ないました。「みんなで繋ごう100kmスイム」では、プールの中で歩いたり泳いだ距離を記録し、みんなで100kmを達成しようという企画です。「目指せバスケット100ゴール」はYMCA発祥のバスケットボールで100本のゴールを目指しました。

この2つのプログラムは1週間を期限に老若男女問わず多くの会員やスタッフが参加し、最終日にはそれぞれ「100」を超える結果となりました。「あと10kmが、じゃあ私はそのうち1km頑張るわ。」「うわあ！ 惜しい！ ボール1個分右や！」この100周年企画を通して、老若男女、国籍を超えて多くの会員が言葉を交わし、笑顔を交わし、そして目標を達成してひとつになりました。体育活動100周年。これからも人と人が繋ぐYMCA活動となりますように。



神戸YMCAは今年で
体育活動100周年
を迎えます！

第15回 神戸YMCAチャリティーラン

「心身に障がいのある子どもたちのために」「被災地の障がいのある子どもたちの笑顔のために」この想いを胸に第15回神戸YMCAチャリティーランが実施されました。

大会当日11月3日の天気予報では冷え込むとの予想でしたが、秋晴れに恵まれ暖かく、走りやすい天候となりました。

350名近いボランティアが早朝から準備を進め、10時に小学生駅伝の号砲が鳴り響きました。一斉にスタートした小学生たちが勢いよくトラックを駆け抜け、颯爽と外周へと走り抜けていく姿は頼もしく感じました。グループランではランナーたちが思い思いのコスチュームを身にまとい、コースを彩っていました。保育園や幼稚園の小さなランナーもステキな衣装を着て可愛らしく走っていました。一般・女子駅伝も白熱したレースが展開され、悲願の優勝を遂げたチームもありました！ 今年第15回という記念大会でもあり、記念種目として1/100（百分の一）マラソンも行われました。ランナー769名、ボランティア294名、スタッフ67名、観客約1,000名の総勢2,000名を超える大会となりました。

チャリティーランの収益金は、心身に障がいのある子どもたちのために神戸YMCAが実施しているキャンププログラムなどに使われます。多くの方の愛に支えられ、この大会が無事に終了できた事を感謝します。



幼稚園



西神戸YMCA幼稚園では、月1回のお誕生会後、保護者の方々とわいわいがやがやとお話をする「わいわい会」を開催しています。お誕生会では保護者の方々を招き、神さまのお話を聞く礼拝や祝会を持ちますが、「わいわい会」ではセルフサービスのコーヒーやお茶を飲みながら、同じ月にお誕生会を迎える学年の異なったお母さん達と子育ての話や、時には今抱えている悩みなどをざっくばらんに話をする機会をもっています。

一人ひとり悩みや関心は違いますが話を聞くことによって、考えさせられたり、共感したり、楽になったりとお母さん方には年1回ですが、楽しみにしてくださっています。時にはお父さんが参加することもあり、豊かな会になっています。

子育てに奮闘中のお母さんが様々なお母さんのアドバイスや共感により、最後には出産時のことを思い出し、多く(?)を望まず「生まれてきてくれてありがとう！」と心から思える日になっているようです。

幼稚園で出会い、「わいわい会」で出会ったお母さんたちが、神さまの見守りの中で、子どもたちの成長を共に喜びあえる事に感謝し、これからも続けていきたいと思えます。

東日本大震災復興支援活動報告

12月1日、東日本大震災復興支援チームリーダー会は、被災避難家族対象「ファミリーデー」を、しあわせの村で行いました。秋の色とりどりの葉や山に囲まれて、参加家族とリーダーと、ゆっくりとした1日を過ごしました。

しあわせの村に着くと、葉っぱが赤や黄色に色づいた木に囲まれた道をみんなで歩きました。歩きながら、大きな葉っぱ、きれいな色の葉っぱや、どんぐりをたくさん拾って、秋から冬に変わりつつある自然を感じました。

野外炊飯は、子どもたちとリーダーで火をおこし、お母さんは料理し、みんなで芋煮を作りました。寒い中、自分たちで一生懸命に作って食べる食事は、本当に美味しくほっこりしました。食事の後、みんなで甘いサモア（マシュマロのおやつ）を食べました。みんな話が尽きませんでした。あつという間に帰宅時間となり、子どもたちとリーダーは「また会おうね」と約束をして別れました。今回は少人数でのファミリーデーとなりましたが、一緒に余島キャンプを過ごした仲間との久しぶりの再会もあり、お母さんたちは語り合い、子どもたちはリーダーと一緒にたくさん遊んで、笑いあいました。本当に短い時間でしたが、子どもたち、お母さん、それぞれの時間を持つことが出来ました。

私たちリーダー会の支援活動費用は、街頭募金を用いています。本当にありがとうございます。今後とも皆様のご協力ご支援をどうぞよろしくお願い致します。

東日本大震災復興支援チームリーダー 西崎 由莉



保育園



「おひさま分園」

マンションの1階にあるおひさま分園は23名の新入園児を迎え、現在0歳児・1歳児・2歳児、34名の小さな子どもたちが遊び、生活しています。

お母さんと離れて過ごす保育園は、小さな子どもたちにとって、部屋の様子、におい、耳にする音や声、初めて出会う人など、家庭とは違う環境すべてが不安材料です。入園当初は、泣き声の大合唱に、地域の方が心配してのぞきに来てくださったこともありました。「大きな声で泣いていいんだよ」と、泣くしかない子どもの気持ちを受け止め、心を開いてくれるのを待ちました。泣いているわが子の姿に涙し、後ろ髪を引かれながら、仕事に向かう保護者の方もおられます。初めての保育園にドキドキしているのは親も同じです。「泣くのはお母さんが大好きな証拠！ 大丈夫！ 大丈夫」と親の気持ちにも寄り添いながら声をかけました。子どもの笑顔とともに、子どもと職員、保護者と職員の信頼関係も深まってきました。

「おはよう」と両手を広げて走り寄ってくる姿、好きなおもちゃや遊びを見つけて遊ぶ姿、お友だちと笑顔で遊んでいたと思いきや次の瞬間おもちゃの取り合いで「イヤダー」と互いに涙する姿などが見られ、泣き声で溢れた春とは違って、笑顔溢れるにぎやかなおひさま分園です。



チャリティーワイン、12月3日(月)、神戸ポートピアホテル「ワイン」にて第26回チャリティーワインを開催しました。収益から一部の方々が参加され、収益の一部を寄付いただきました。感謝をもちました。

- | | | | | | |
|---------------------------|---------------------|---------------------------|---------------------------|--------------------|---------------------|
| 安武水橋西藤上加島黒山大万河尾長橋小堀大武松吉森市 | 英雅雄宏 良恭敏 敬常弘敬 尚建正正裕 | 阪東三熊中奥柏濱福黒山矢光濱清杉岩鄭多下高大大川金 | 根谷宅谷尾山原原崎本野岡瀨水村田鄭胡田恵和正靖義泰 | 敏 親英泰佳浩吉世克勇和知 良美葉子 | 新雄敬啓輔仁子一孝子己治美子満肇男恵子 |
|---------------------------|---------------------|---------------------------|---------------------------|--------------------|---------------------|

- 第27回神戸YMCAチャリティーゴルフ大会
日時...2013年10月30日(火)
場所...オリビックゴルフ倶楽部
参加者数...48名
収益金...約194,000円
協力者氏名...
- 〔寄付〕
都倉 康之
小田 京浩
宮地 和子
石坂 千代
元津八千代
神戸ワイズメンス会
西宮ワイズメンスクラブ
- 〔チャリティーゴルフ〕
金藤 泰祥
川島 義久
大田 靖之
高井 正博
下田 美和
多田 恵子
鄭 胡田
岩 村
杉 水
清 瀨
濱 真
光 知
矢野 美
山本 治
黒崎 克
福原 世
濱原 浩
奥山 佳
中尾 仁
熊谷 敏
三宅 敬
- (順不同・敬称略)

感謝・寄付

～韓国YMCAでの研修報告～

ホームヘルパーの事務所 中野 卓磨

10月29日から11月18日の3週間、神戸YMCAとパートナーシップを結んでいる韓国の大田(テジョン)YMCA、水原(スウォン)YMCAを訪問しました。両YMCAとの更なる交流と協力関係の模索が今回の目的で、訪問中は様々なプログラムを見学、参加させていただきました。それぞれのYMCAでは幼少年、成人ウエルネス、委託施設事業など、神戸YMCAの事業と共通しているものも多く、今後の交流関係には発展の期待が持てました。

著しい速度で経済発展が進む今日の韓国ですが、その中で社会から青少年に求められる期待と現実は過酷なものだと感じました。朝7時半から夜10時まで学校で勉強し、そのあとさらに塾に向かう学生たち。大田市のチュンナム女子高校にはYMCAクラブ(ハイY)があり、定期的は大田Yのスタッフが訪問して社会教育プログラムを行っています。訪問した際、思わず聞いてしまいました。「みなさん健康ですか? なぜ勉強をしているんですか?」学生たちは苦笑しながら「いや勉強はしないといけないでしょ。」勉強、勉強の生活の中で、もちろんストレスを溜めているけど、それが当たり前だから...という様子で応えていました。良い大学、就職のための勉強、それを一度止めてしまえば人として認められない。そんな恐れを抱えているようにも思いました。

水原YMCAではとても興味深いプログラムがありました。「金融保険キャンプ」高校生(ハイY)対象のこのデイキャンプには大学生(学生YMCA)がボランティアとして参加していました。都市にあるYMCAが社会教育活動を通して高校生、大学生の活動を活発にし、新たな価値観や考えを育てているのです。



大田市チュンナム女子高校訪問

韓国の人々からは良く「ウリナラ(私たちの国)」という言葉を使います。自分たちがこの国を作っていくんだ、作っていいのだ。大田、水原それぞれのYMCAで出会ったスタッフの皆さんからもそんな情熱を感じました。地域を超え、国を超え、互いに手を取り合い「ウリナラ(私たちの地球)」を作る。YMCAに集まる私たち1人1人がそう願う人でありたいと思います。



大田YMCA

出向者からの便り

みなさん、お久しぶりです。京都YMCAに出向中の古谷です。

2011年4月から3年間の任期で出向し、任期の半分を過ぎたところです。

さて、この機会に私の京都での活動内容と、それを通して感じていることなどを述べたいと思います。



京都YMCA 古谷 佳之さん

京都YMCAは公益財団法人と学校法人を有しており、前者は主に会員活動、成人ウエルネス、幼少年体育、野外活動を、後者は専門学校、英会話などを活動の範囲としています。私は、学校法人の専門学校部門の担当として業務に就いています。

専門学校は、①「介護福祉士」資格取得のための介護福祉学科、②「社会福祉士」の受験資格を得るための社会福祉士科、③留学生を対象とした日本語教育機関である日本語科の3学科で構成されています。その中で私は、介護福祉学科と社会福祉士科の担当として、講師の方々と協力してカリキュラムの見直しを行ったり、学生の就職や学校生活の支援、また、行政の対応などを行っています。

神戸でも専門学校を担当していましたが、これまで関わってきた専門分野と全く異なることで、日々発見があります。特に福祉分野は今の社会で求められている人材養成の一つであり、ここで学ぶ方は単に「学生」と一言で言いますが、10代から中には50代の方までおられ、みなさん資格取得に向けて頑張っておられます。そういう方々の姿を見るにつれ、私自身、「自分もまだまだ勉強しないと」という気持ちが強くなり、学生の皆さんから学ぶことも多いです。

神戸、京都の両YMCAで学校運営に関わったことで、自分なりに「YMCAらしい学校」の姿を明確にすることが出来つつあります。また、YMCAが学校を運営する意義を再度認識し、YMCAでしか出来ないものは何かを追及する良い機会ともなっています。

残りの期間、少しでも多くのことを吸収したいと思います。

『直径15cmのケーキに思いを込めて...』

11月11日(日)にユースプラザKOBE・EASTで「第1回KOBE中高生Sweetsコンテスト」を開催しました。6組の中高校生チームが「あなたの街神戸」をテーマに作成したデコレーションケーキを持ち寄り、それぞれの作品に込めた思いを発表してくれました。審査委員による審査と、出場チームどうしの審査を行い、優秀チームを決定しました。自分たちが暮らす「神戸」という街のことについて改めて考えたり、仲間どうしの繋がりの大切さに気づいたり、仲間の必勝を願ったりと、直径15cmの小さなケーキに込められた思いは様々でしたが、どのチームも工夫を凝らした素晴らしい作品を作ってくれました。

もの作りを通して、そこに思いを込めて作った者にしか分からない何かに参加した皆さんの心の中に残っているのではないのでしょうか。普段何気なく手にしているものや、食べているものにも様々な人の思いや願いが込められています。見た目の美しさや、味の良さだけでなく、そこに込められた思いに触れた時、人の心は動かされるのではないかと思います。スイーツコンテストは来年も継続して開催します。今回は参加することができなかった人も来年は是非、参加してみてください。あなたなら直径15cmのケーキに自分の思いをどうやって表現しますか?



ユースプラザKOBE・EAST 藤田良祐

シリーズ こくさいのまど ②6

10月13日～22日、第9回オリーブ収穫プログラムが、JAI (Joint Advocacy Initiative / 東エルサレムYMCAとパレスチナYWCAが共同で組織)によって実施されました。在日本韓国YMCAは日本YMCA同盟と共同して、毎年、このプログラムに参加者を派遣しています。今回、神戸YMCA職員の永井道子が参加しました。



2国を分断する壁

神戸YMCA国際協力募金から、パレスチナに正義ある平和と希望が訪れることを願って、オリーブの苗木を植える「オリーブの木キャンペーン(Keep hope alive)」に、毎年、オリーブの木を送っています。創立125周年記念には100本を送りました。パレスチナの人びとにとって、生活を支えるオリーブの木は、長い歴史の中で世代を通じて大切に守り育てられてきました。しかし、イスラエルの入植地拡張により強制的に根こそぎ引き抜かれ、危機的状況にあります。平和と希望を願って世界の人たちが支援するYMCAの活動に参加したいと願い、今回の参加となりました。

世界から84名が今回のプログラムに集まりました。イスラエルの入植地拡張で、自分のオリーブ畑での収穫が難しくなっている地元農民とともに、入植地に取り残されている畑でのオリーブ収穫です。農家の人びととのオリーブの収穫は、子どもたちの歌声や笑い声も交じり、豊かな実りが与えられた収穫の時です。このすぐ近くにはイスラエル軍の兵営があります。私たちが収穫している時も畑を訪れ、収穫を遮ろうとしました。いつも緊張を強いられている人たち、そこで育つ子どもたちと触れあい、ともに過ごす中で、子どもたちの将来への希望、そして平和を願わずにはいられませんでした。

このプログラムは、オリーブ収穫のみならず、パレスチナの歴史や現状、難民キャンプ訪問、また、エルサレム旧市街地やベツレヘムの聖誕教会も訪れます。プログラムに参加した人たちは、パレスチナの人たちがおかれている状況を学び、そこでの日常生活を垣間見ることができます。私が見たパレスチナの市場は、さまざまな香辛料が並び、日用雑貨が所狭しと並べられ、人々が行き交い、歩く私たちとも挨拶が交わされます。確かに人々が暮らしています。その日常生活がいつ強制的に接収されるかわからない、私の想像を超える現状があります。12月初旬、国連総会でパレスチナが「国家」に格上げされた直後、イスラエルは入植計画を公示することを決めました。パレスチナの子どもたちに平和と希望が訪れるように、これからも継続して関心を持ち続けたいと思います。



オリーブ収穫の様子

在日本韓国YMCA

「パレスチナとYMCA」

<http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/palestine>

JAI

<http://www.jai-pal.org/>

- ウエルネスセンター三宮 ☎078 (241) 7202
- YMCA ホームヘルパーの事務所 ☎078 (241) 7237
- ランゲージセンター ☎078 (241) 7204
- 専門学校 ☎078 (241) 7203
- 西宮YMCA ☎0798 (35) 5987
- 三田YMCA ☎079 (559) 0075
- 余島野外活動センター ☎0879 (62) 2241
- 国際・奉仕センター ☎078 (241) 7204
- ウエルネスセンター学園都市 ☎078 (793) 7401



Information

- 西神戸YMCA ☎078 (793) 7402
- 西神戸YMCA ☎078 (993) 1560
- 須磨YMCA ☎078 (734) 0183
- YMCA 保育園 ☎078 (794) 3901
- 西宮YMCA 保育園 ☎0798 (35) 5992
- 西神戸YMCA 保育園 ☎078 (792) 1011
- YMCA ちとせ幼稚園 ☎078 (732) 3542
- 西神戸YMCA 幼稚園 ☎078 (997) 7705
- 西宮つとがわYMCA 保育園 ☎0798 (26) 1016

☆☆☆☆☆☆☆☆ 神戸YMCAクリスマスカードコンテスト ☆☆☆☆☆☆☆☆

12月5日(水)、第27回神戸YMCAクリスマスカードコンテスト審査会が開催されました。今年には神戸から長崎まで、50点の応募がありました！どれも個性的で楽しい作品ばかりでした。入賞者は以下の通りです。皆さん、おめでとうございます！

- | | | | |
|------------|-------|-------|-------|
| 最優秀賞 | 幼児の部 | 任 織里 | |
| | 小学生の部 | 日置 凌輔 | |
| 優秀賞 | 幼児の部 | 轟田 直生 | 岸本 一花 |
| | 小学生の部 | 竹之内彩乃 | 任 悠里 |
| YMCA賞 | | 牧 小夏 | |
| ワイズメンズクラブ賞 | | 長江 昌樹 | |
| メネット賞 | | 石角 理子 | |



幼児の部
最優秀賞



小学生の部
最優秀賞

Photo Topics



ラストスイム

11月8日、専門学校フィットネス&スポーツ学科生による水泳長距離記録会が行われました。今年で募集ストップになってしまったフィットネス&スポーツ学科生のラストスイム、25年間で858名の学生がこの行事に参加をし、汗を流し涙を流したロングイベントでした。

今年は記録会後に学生全員でシンクロナイズドスイミングを行い、持っている力をそれぞれが精一杯に発揮をし、満足のいく発表ができました。当日は多くの卒業生や先生方に見に来ていただき、改めてこの学科がたくさんのの方に愛されているんだなあと感じました。

そんな皆様に見守られ25年間続いた記録会は学生達の笑顔いっぱいめでたくられました。



専門学校ホテル学科: 社会福祉体験

11月22日(木)、神戸YMCAホームヘルパーの事務所の方からお願いして、ホテル学科の学生たちが社会福祉体験をしました。将来就職をしたときに、身体の不自由な方に接する機会があるかもしれません。身体の不自由な方々がどんな思いで生活をしている、町の中にはどんな不便があるのかを、介助される側と介助する側の体験を通し、少しでも考えてほしいと思います。

人は助け合わないと生きていけないのかな? そんなことを感じてほしい社会福祉体験でした。ホームヘルパー事務所の皆さん、ありがとうございました。



学園西町文化祭

11月11日(日)に学園都市YMCAのすぐ横にあるダイエーリパティホールで学園西町文化祭が行われました。

ウエルネスセンター学園都市も体組成測定のコナーを担当し、地域の方と交流しながらご自身の身体の状態を知ってもらえる良い機会となりました。



中日本水泳交歓会

11月18日に三宮会館屋内プールで中日本地区の水泳交歓会が行われました。中日本地区の7つの施設(京都、奈良、大阪桃の里、大阪南、大阪北摂、神戸学園都市、神戸三宮)から総勢205名のスイマーたちが集まりました。年齢も幼児~リーダーまで幅広く、レース中には大会初参加の幼児さんがスタート台に立つことなく飛び込んでいる姿に会場が大いに盛り上がりました。



秋のファミリーウィークエンド(10月、11月の週末)

夏とは違う爽やかな季節。刻々と彩を深める秋の余島はとても気持ち良く、開放的な雰囲気の中で過ごす家族の笑顔が、週末の余島に咲きました。

週末ちよこっとファミリーキャンプ。哀愁の季節、自然は私たちに潤いと爽やかさを与えてくれます。



日本語学科新入生歓迎会

日本語学科新入生歓迎ドッジボール大会を10月26日、体育館にて開催しました。ドッジボールは小学生の遊びですが、多くの日本人の幼い日の思い出を留学生たちにも体験してもらおうと、今回初めて歓迎会に取り入れられました。初めは何をしているのかわからない学生もいたようですが、だいたいに要領がつかめ、予想以上の盛り上がりとなりました。意外な学生笑顔や鋭い眼差しも目にする事ができました。この年頃の若者って、こんなに無邪気だったのでしょうか。学生たちの笑顔があふれ、打解け会える素晴らしい歓迎会になりました。

~北タイ農村の人々と過ごす~
第30回タイワークキャンプ参加者募集
 日 程: 3月14日(木)~26日(火)
 募集人員: 14名(最小催行人員7名)
 対 象: テーマに関心を持ち、ワーク可能な18才以上男女
 参加費: 215,000円
 説明会: 2013年1月11日(金)・19日(土)午後7時~8時
 ◆上記日程で不都合な場合、ご相談ください。
 問合せ先
 国際・奉仕センター(担当:永井)
 TEL: 078-241-7204
 E-mail: mnagai@kobeymca.org
 ※このキャンプは「神戸YMCA国際協力募金」及び「ワイズメンズクラブ国際協会西日本区六甲部各クラブ」の支援によって実施されています。

★★ 個人消息 ★★

【ご誕生】おめでとうございます
 8/25 田中加世子さん(YMCA保育園)
 ご次男 龍ノ介(りゅうのすけ)くん
 11/1 中塩屋あゆみさん(西神戸YMCA保育園)
 ご次女 萌咲(もえ)ちゃん

【ご結婚】おめでとうございます
 11/18 藤原衣里子さん(YMCA保育園)
 原田健二さんと

【退職】お疲れ様でした
 10/31 大野奈月さん(西宮つとがわYMCA保育園)

